

## 『わくわく文庫』のご案内

**簡単にできる！  
速脳・速聴  
トレーニング**

# 読書支援システム

# わくわく文庫

『わくわく文庫』は、  
コンピュータを使った  
読書支援システムです。

私たちが本を読むとき、活字を追うスピードは、人の語や朗読を聴くスピードよりも速くなっています。そのスピードは個人差がありますが、慣れれば数倍の速度で読んだり聴いたりできます。当然、速く読んだり速く聴いたりすれば、脳は情報を速く処理しようと大いに活性化されます。そして、高速処理を得意とする右脳が活発に働き、集中力や記憶力を高め、学習にも大きな効果が期待できます。わくわく文庫で朗読を聴くときは、一番心地よい速度で聴くことが大切で、そのスピードが速くなっていくと、脳の処理速度も増し、これが脳力開発につながるのです。

## わくわく文庫 の効果

全国の「わくわく文庫」実践教室の先生方へのアンケートから

### 漢字も読める

国語のテストで全部読みきれなかった子が読めるようになった。漢字も読めるようになっていた。

### 本が好きになる

本好きになる。特にシリーズものを読み始めると続きを読みたがる。「本を買って」と親にせがむようになった。

### 長文も楽に読める

長い文章に慣れるので、長文も楽に読めるようになった。記憶力も良くなる。

### 自己表現ができる

自己表現ができるようになった。感想や心に残った言葉などを書かせているが、感情豊かな文章が書けるようになった。

### 脳が活性化される

通常の授業では学習できない脳の処理能力を上げることができる。脳が活性化され、それが成績アップにつながっている。

## わくわく文庫

### トレーニングの流れ

- パソコンの前で読みたい本を開きます。
- ヘッドホンから流れる朗読の音声を一番心地よく聴き取りやすいスピードに合わせて、聴きながら読書を進めます。
- 朗読音声の再生は、0.5倍速から最高10倍速まで任意の速度が選べます。
- 読んだタイトル・ページを履歴として記録し、一人ひとりの文庫を作ります。

### 全200タイトル

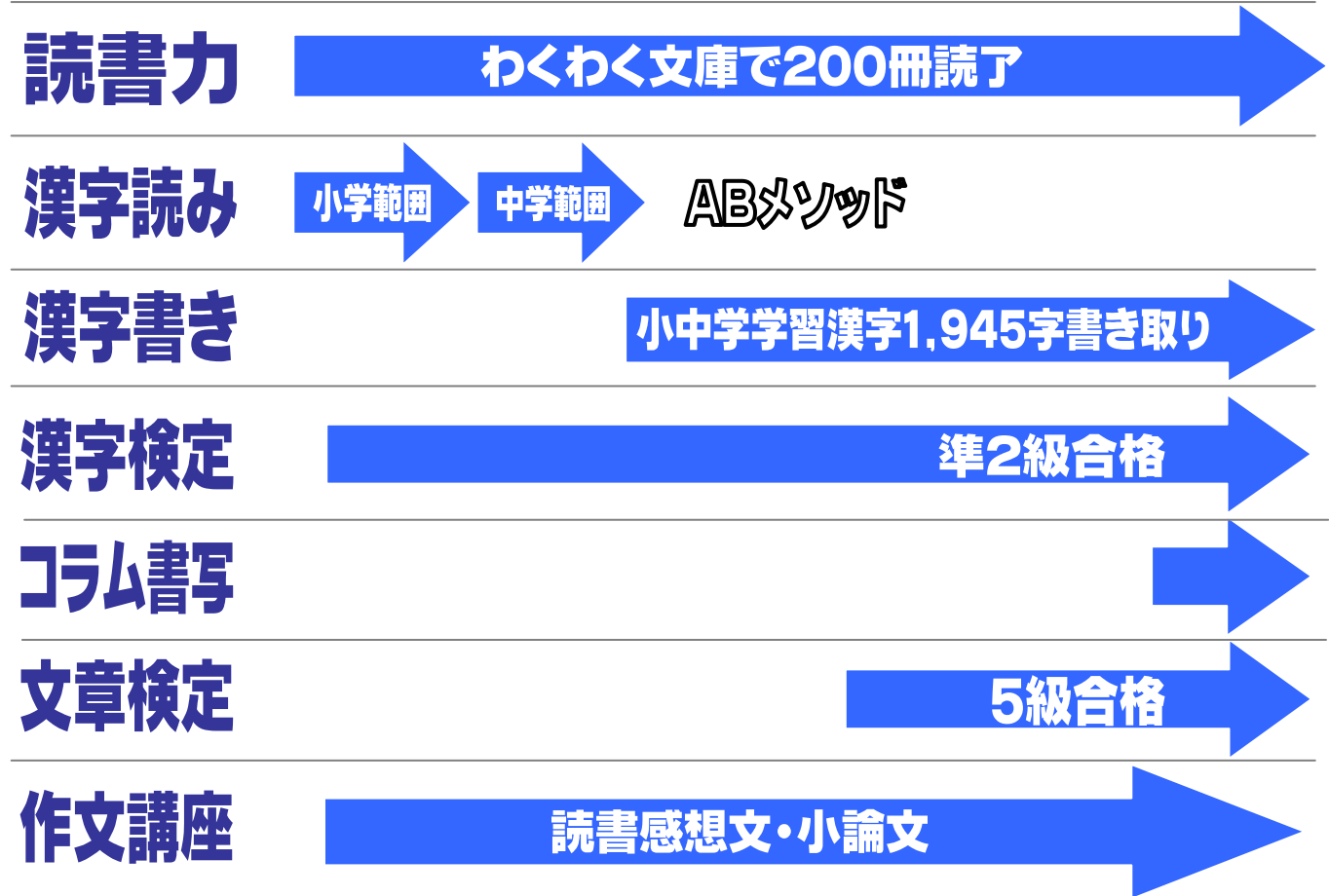
小学1年生から中学生までに読ませたいタイトルを選びました。



朗読は、声が物語の印象にあったプロのナレーターを起用。味わい深い朗読が子ども達の読書を楽しく心地よいものにします

## プリンスが目指す国語教育

小1 小2 小3 小4 小5 小6



## わくわく文庫とは？

「すべての科目の土台となる国語の力をのばすにはどうすればいいのだろう...」

国語の力を上げるには、低学年のうちの『読書』が一番です。国語力がつけば、理科や社会はもちろん、算数の文章題さえも解けるようになります。

興学社学園では、低学年の読書を奨励するため、『わくわく文庫』というプログラムを導入しました。わくわく文庫は、本の好きな子どもはもちろん、本が嫌いな子どもでさえも知らず知らずのうちに読書をする習慣が身につけてしまう画期的なシステムです。

ヘッドホンから流れてくるプロのナレーターの情感豊かな音声を聞きながら速読速聴トレーニングができます。読む速度は子どもたちそれぞれにあったスピード（0.5倍～10倍）を選んで設定することができます。速いスピードで聴けるようになると脳が活性化され、読解力が上がるのはもちろんのこと、「やる気」が出て、集中力や記憶力までも高める「能力開発」効果が期待できます。これは単なる読み聞かせではなく、子ども自身がしっかりと活字を目で追うことで、読書のおもしろさ・醍醐味を体感できます。また、耳から聞こえてくる心地よいリズムの朗読で、いつの間にか読書が楽しくなり、感性を育てます。世界各国の名作と呼ばれる作品を200タイトル用意しました。この機会にぜひ体験してみてください。

## 生徒・保護者の声

### ▼ 生徒の声

- ・わくわく文庫を始めてから、テストで問題文を2回読めるようになり、正答率がアップした
- ・長文も楽に読めるようになった
- ・日本語を読んでいるのに、算数や理科など国語以外の成績も上がった
- ・考えるスピードが上がり、授業がよくわかるようになった
- ・家でも本を読むようになった

### ▼ 保護者の声

- ・「子どもが本を買って！」と、세가むようになった
- ・うちの子は落ち着きがなかったが、わくわく文庫を始めてから落ち着きがでてきた
- ・人の話も一度でわかるようになった
- ・よくしゃべるようになった
- ・読書の習慣がついた
- ・集中力がついた
- ・根気がついた

## 『ABメソッド』について

### ABメソッドとは？

ABメソッドは、教科の学習にも用いられる素材を使って、視覚と聴覚から脳に多面的刺激を与えるプログラムです。子どもたちは楽しみながら、様々な課題にチャレンジしていきます。

### その結果…

**子どもたちのこれまで眠っていた能力を目覚めさせます。**  
**子どもたちの右脳と左脳と同時に刺激し、活性化させます。**  
**子どもたちの好奇心を高め、やる気を高めます。**  
**子どもたちの学習への集中力を高めます。**

～学習コンテンツ～

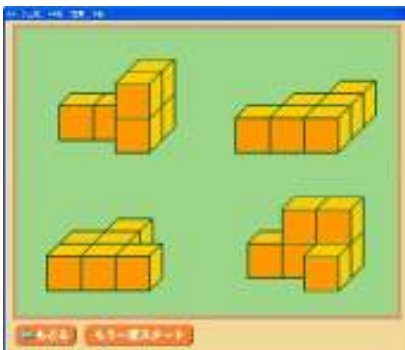
## 《スピード暗記》



「漢字偏」「地図編」「英単語編」の3つがあり、フラッシュカードの要領で、たくさんの内容をリズムよく速く覚えられます。画面に表示されたら、続けて声を出して追って行きます。

右脳の記憶力を活性化させることにより、映像的にとらえることで、右脳も活発に働きます。

## 《イメージ記憶》



画面上に表示される画像を一瞬だけ見て、情報を記憶します。カメラで写真を撮るようにイメージが残像として記憶に残ると、記憶量が飛躍的に増大します。

- ・ 四択…「図形」「色」「写真」「数字」
- ・ 並べ替え…「図形」「数字」「色・模様」
- ・ 消えていたのは？…「図形」「数字」「色・模様」「色(円)」
- ・ 間違い探し…「トラックレース」「パーキング」「グラウンド」

## 《スピード計算》



画面上でいろいろな計算スタイルを「速く」「正確に」連続して計算していきます。画面に計算式などが表示されますので、電車が風船を割ってしまう前にすばやく答えの「数字」と「Enter」キーを押します。

計算力がアップするだけでなく、集中力が高まり、根気や注意力も養われます。

## 《ヒアリング古典》



古典の名文を速度を変えて聞くことができます。繰り返し聞くうちに、正確に意味がわからなくても、古典のリズムや日本語が耳に残って、知らず知らずのうちに身につきます。

昔の子どもたちが色々なものをそらんじて覚えたように、頭が柔らかいうちに古典に親しむことは、脳を発達させる上でも大変に有効です。